（２０２５年度）　第４１回　函館地区一般クラブ対抗バドミントン大会　〔大会要項〕

１　主　催　函館地区バドミントン協会

２　期　日　２０２５年(令和７年)　１２月２１日（日）

３　会　場　函館アリーナ〔函館市湯川町１丁目３２番３号〕　TEL：５７－３１４１

４　競技種目　男女団体　各１部・２部（ダブルス３ペアによる団体戦）

５　大会日程　７：４５　役員入場
８：００　選手入場・会場設営
公式練習・代表者打ち合わせ
※閉会式は行わない。賞状は準備ができ次第、随時授与する。

６　参加資格　①渡島・檜山・函館地区在住の一般社会人（大学生・高専生を含む）で、本年度、函館地区バドミントン協会への加盟登録を完了した者。（当日の加盟登録も可とする）
②高校生の出場については１月に行われる全道高校選抜大会への出場権を得た１・２年生によるチーム編成に限り選手強化を兼ね１部への参加を認める。
③高専生は４年生以上の者でチーム編成をして参加のこと。
但し、上記②に該当する場合は、１・２年生のみでのチーム編成により１部への参加を認める。
④その他、競技委員会で認めた者。

７　チーム編成　①１チームの構成人数は原則として６名以上～８名までとする。
②チーム編成にあたっては、「19：チーム編成」の欄を参照のこと。

８　競技規則　本年度（公財）日本バドミントン協会の「競技規則」・「大会運営規程」・「公認審判規程」に準ずる。

９　使用器具　①本年度（公財）日本バドミントン協会検定合格器具を使用する。
②使用球は、（公財）日本バドミントン協会検定球とする（地区協会で用意する）
③服装については（公財）日本バドミントン協会検定合格品を着用のこと。

10　競技役員　○レフェリー(田中　亨)　○デピュティー・レフェリー（古一　健太）

11　参 加 料　１チーム　１２，０００円
※参加料は大会当日に、会場にて受け付ける。

12　申込方法　①所定の用紙（様式１：参加申込一覧）に各競技種目ごとに記入すること。
②不備なもの、及び電話による申し込みは受け付けない。
③「様式１：参加申込一覧」をメールもしくは郵送・ＦＡＸで申し込むこと。
④申込締切日　２０２４年１２月１２日(木) 必着
⑤申込先　０４０－００１２　函館市時任町１１番３号
北海道函館中部高等学校　内　尾村　晃治　（宛）
TEL　０１３８－５２－０３０３　FAX　０１３８－５２－０３０５
メールアドレス kozy-omura@hokkaido-c.ed.jp

13　組 合 せ　令和７年１２月１４日（日）（予定）函館中部高等学校　相談室　１０：００～
函館地区バドミントン協会がシード法で行う。

14　そ の 他　①競技開始前に代表者会議を行う。各チームの代表者１名は参集すること。
②「大会運営規程」の改定〔第４章 第２４条〕(2019 年 4 月 19 日より)
ウエア(上衣)の背面に「所属チーム」名を表示すること。
（高さ６cm～１０cm、横３０cm 以内）

15　審　　判　①予選リーグ、決勝・３位決定戦及びその他の順位決定戦は、対戦するチーム同士の相互審判制で行う。また各チームより得点板係を１名相互に選出すること。
②敗者・勝者に関係なく審判を行う。
③競技進行状況により、審判協力をお願いする。

16　練習時間　①会場設営が終了次第、練習時間を設ける。
②各チームごとにコートを指定して１０分間ずつ実施する。

③コートの指定については組み合わせ会議の場で調整し、協会ホームページに掲載する。

17 オーダー提出　①予選リーグ戦の初回戦については、９：３０までに提出すること。
②以降の試合については、放送で指示するので遅れないように提出すること。
③５名・４名編成チームは、第３Ｄにそれぞれ１名または２名の重複選手名を記入して提出すること。

18 表　　彰　①上位のチームを表彰する。(優勝・準優勝)
②３位決定戦を行った場合は３位まで表彰する。

19 チーム編成について(参加申込時の留意点)
①人数不足について　やむを得ない事情によりチーム編成の最低人数６名に満たない場合は、以下によるチーム編成も可とする。
(ア)「４名編成チーム」または「５名編成チーム」での参加を可とする。
(イ)勝敗及び順位決定については、後述する「21 競技方法」を参照すること。
(ウ) 本大会に「参加申し込みをしていない協会登録済みのチーム」から１名～２名を補充して「６名編成チーム」で参加することは可とする。但し、補充によって７名編成チーム・８名編成チームにすることは禁止する。
(エ) ３名以下で選手がそろわない場合、６名編成となるように他クラブより補充することを可とする。
(1)補充する選手のクラブは、補充選手を除きそのクラブ単独チームとして出場申し込みをしていること。
(2)補充する選手のクラブが単独チームを編成できない場合は、複数クラブでチームを編成する。チーム名は合同チーム名とする。
(オ)やむを得ない事情とは以下の通りとする。
(1)クラブ内の協会登録者数が６名に満たない場合。
(2)参加申込締め切り時に、大会当日人数が最低６名に満たないことが明らかである場合。但し、締切日以降の補充及び変更は不可とする。
②同一のクラブより複数のチームを編成する場合
(ア)同一クラブより複数のチームを編成することを可とする。その場合は、団体名に(Ａ)・(Ｂ)などの識別記号を記すること。
(イ)各試合において同一クラブ内の分散化したチーム相互間での選手の貸し借りは禁止する。
(ウ)以下、上記①の各項目に準ずる。

【平成１３年度函館地区一般クラブ対抗大会：代表者会議での申し合わせ事項（確認）】
・他チーム(クラブ)との重複登録及び年度途中での登録変更は認めない。
・地区協会主催による年間の大会スケジュールを考慮し、年間を通じた大会出場を見越して協会登録を行うこと。
・その他、協会の判断による。

20 大会当日の「代表者打合せ」での協議事項及びその他について
①大会当日において、やむを得ない事情により欠員が生じ、必要最低人数（６名）が揃わず人数不足となった参加希望のチームの取り扱いについては以下の通りとする。
(ア)代表者は打合せの前までにその旨申し出ること。
(イ)申し出のあったチームについては以下の通り扱う。
(１)人数不足のまま「４名編成チーム」又は「５名編成チーム」で試合を行う。
(２)エントリー選手の変更を希望する。
但し、変更する場合は同一クラブに登録済みの者で、本大会の参加申込締切時において参加選手名簿に記載されていない選手とし、１～２名までとする。
②やむを得ない事情により大会途中で欠員が生じ、必要最低人数（６名）を欠いた場合は、以下の通りとする。
(ア)「オーダー用紙の提出前」に速やかに競技委員会(本部席)に申し出ること。
(イ)人数不足のまま「４名編成チーム」または「５名編成チーム」で試合を行う。
この場合、勝敗及び順位決定については、後述する「21 競技方法」を参照すること。
(ウ)申し出後の試合については、「欠員の補充」についてはいかなる方法でも認めない。
(エ)申し出のない場合は、当該チームを「失格」とし、以降の試合を行わない。又、それ以前の試合結果については抹消する。

21　競技方法・勝敗及び順位決定について
①競技方法について
(ア)男女別に部門別(１部・２部)の団体戦を行うが、各部門の参加チーム数が少ない場合は、他の部門のチームに統合して行う場合がある。

(イ)出場チームの「チーム編成の確認」「１部・２部の判定」及び「組合せ方法」は競技委員会が組合せ会議で検討・協議し決定する。

(ウ)各部門ともリーグ戦による予選を行い、その試合結果により決勝戦及び３位決定戦の試合を行う。
(エ)参加数により１ブロックのみの総当たりのリーグ戦で順位を確定する場合もある。
(オ)その他の順位決定戦を行う場合もある。
(カ)(ア)～(オ)については、組合せ会議において競技委員会で検討しその実施の可否を決定する。

②予選リーグの試合方法及び順位決定方法について
(ア) 予選リーグは勝敗結果にかかわらず１Ｄ―２Ｄ－３Ｄまでの試合を行う。
(イ)「５名編成チーム」の場合は３Ｄ目において１名が重複出場する。「４名編成チーム」の場合は３Ｄに２名が重複出場する。但し、いずれの場合も勝敗は３Ｄを負けとして算定する。
(ウ) 競技の進行状況により、対抗戦内の各試合を複数のコートに開いて行う場合がある。
(エ) 予選リーグの順位決定については、１Ｄ－２Ｄ－３Ｄまでの結果をすべて、勝敗数として算出して順位決定する。
(オ)リーグ戦方式で試合を行う場合の順位決定方法は以下の順で行う。
勝敗数→取得ゲーム率→取得ポイント率
③決勝・三位決定戦及びその他の順位決定戦について
(ア) 試合形式ついては、トーナメント戦もしくはリーグ戦とする。
(イ) 競技の進行状況により、対抗戦内の各試合を複数のコートに開いて行う場合がある。
(ウ) 競技方法については以下の通りとする。
⑴３組による対抗戦とし、先に２勝したチームを勝ちとする。
⑵対戦結果が（２－０）になった場合の残りの第３ダブルスの試合については対戦チーム相互の合意があれば試合を行うことは可とする。この場合、主審は本部席に連絡すること。
⑶競技の進行上、複数のコートに開いて同時に試合を行っている場合、試合途中のダブルスの試合が残っていても途中打ち切りせず試合を続行することは可とする。
⑷上記の⑵⑶の場合について、その結果は対戦成績には含まないものとし、表記上は（２－０）のままとする。
⑸チーム編成人数が４名または５名編成のチームの試合についても同様とする。
⑹会場の都合(時間制限・コート数など)によりやむを得ない場合には、２勝先取で打ち切る場合もある。

22　大会運営について
①競技スペースには当該試合の団体選手以外は立ち入らないこと。
②コートサイドには、選手が使用するカゴやドリンクケースを設置せず各自持参し、飲み物も各自バッグに収容する。
③ゴミは持ち帰りとする。

23 【参考資料】

1	前年度：クラブ対抗		各部（種目）の優勝チーム		（２０２４年度）（令和６年）	
	１ＭＴ（１部男子）	KONKENSETSU	市村　秀典・杉谷　優貴・田中　　亨・今　和弥 今　　和幸・林　　玖憲			
	１ＷＴ（１部女子）	北斗	髙藤奈々華・木村　千智・鎌田　瑠捺・影浦　愛 信太　彩美・舘山　レナ			
	２ＭＴ（２部男子）	N.B.T.（B)	立花　志信・葛西　雅史・増田　　徹・宇美　隆浩 宮澤　佳広・梅田　　裕			
2	今年度の各大会の優勝者(含む、昇格について)｜（春季一般大会・道南大会のみ掲載）					
	①｜〔２０２５年度：第５１回　函館地区春季一般バドミントン大会〕					
	１ＭＤ	辻村　　駿 福士　和真	(遺愛女子) (Route278)	１ＷＤ	小柳　天乃 森川　飛鳥	(Route278) (Route278)
	１ＭＳ	福士　和真	(Route278)	１ＷＳ		
	２ＭＤ	市村　秀典 田辺　金寿	(KONKENSETSU) (KONKENSETSU)			
	２ＭＳ	工藤　柊二	(函館大学)			
	ＶＤ	石田ゆかり 水上　京子	(函館 BLC'06) (函館 BLC'06)			
	ＶＳ	竹田　光文	(ｺﾓﾝｽﾞﾌﾟﾚｰﾔｰｽﾞ)			
	②｜〔２０２５年度：第５２回　道南バドミントン大会〕					
	１ＭＷＤ	上井　敦司 辻村　　駿	(Route278) (遺愛女子)			
	２ＭＤ	佐々木優太 竹田　颯太	(Route278) (Route278)			
	ＶＤ	松田美奈子 水上　京子	(函館 BLC'06) (函館 BLC'06)			